

# 第17章 福島県郡山少年自然の家

## 第1節 概要

郡山少年自然の家は、恵まれた自然環境の中で、生き生きとした野外活動や集団宿泊活動を通して、豊かな情操と社会性を養い、心身ともにたくましい少年を育むことを目的として昭和47年8月に開所し、開所20周年の今年には延べ利用人数が90万人に達し、10月には記念式典を開催した。

郡山少年自然の家は、学校教育・社会教育が持つ、それぞれの機能を統合・補完するとともに、これからの生涯学習時代に対応し、開かれた社会教育施設として、次のような教育目標を掲げ、その実現に努めてきた。

- 自ら進んで、楽しく活動をくり広げられる少年  
(自主性と創造性を養う)
- 自然を愛し、人を愛する豊かな心をもつ少年  
(思いやりと情操を養う)
- みんなと協力し、助け合い、励まし合う少年  
(社会性と連帯性を養う)
- 体力を高め、健康を増進して、働くことに喜びをもつ少年  
(健康な心身と実践力を養う)

### 1 運営委員会

- (1) 第1回運営委員会(平成4年7月17日開催)
- (2) 第2回運営委員会(平成5年2月18日開催)
- (3) 運営委員会の組織

運営委員会の委員は、次のとおりである。

氏名	役職名
植田 英一	福島県議会議員
◎太田 緑子	福島県青少年教育振興会会長
岡部 文雄	福島県小学校長会理事
国馬 善郎	郡山女子大学短期大学部助教授
舘 美文	福島県市町村教育委員会連絡協議会常任委員
津野 英行	福島県PTA連合会副会長
○本宮 俊一	郡山市教育委員会教育長
松井 健治	福島県中学校長会理事
望月 敏雄	福島県公民館連絡協議会理事
山下 淡童	福島県子供会育成連合会会長

氏名は五十音順 ◎印 議長、○印 副議長

### 2 平成4年度重点目標と成果

#### (1) 魅力ある施設づくり

- ① 自然の家は、マンネリに陥ることなく、新規性があり、いつでも、誰でもが気軽に利用でき、そして自分達の望みの研修が自分達の手で進められる状態になっていること

とが魅力につながるものと考えられる。

そのために、指導マニュアルの整備補充、指導者研修会への参加及び事前打合せ、実地踏査を奨励し、主体的に研修が進められるよう改善を加えた。

- ② 主体的研修を勧めるための準備として、研修用具等の開放利用を考慮するとともに安全面に万全を期す努力をした。
- #### (2) 施設・設備の整備
- ① 施設・設備を効果的に利用できるようにするためにコース表示板等の看板を充実させた。
  - ② サーキットコースに組み込まれている網渡り、やぐら、丸太渡り、つり橋渡り、なわ梯子等を全面改修し、安全に研修できるようにした。
  - ③ マウンテンバイクの台数の充実(15台の増)と共に、利用者の興味・関心を高めるコースづくりに努めた。
- #### (3) 研修活動の改善と開発

- ① 生涯学習時代の要請に応えられる施設となるために、多様化した利用団体に対応できる研修活動の開発は必至のことである。

このことを受けて、1例として、オリエンテーリングの多様な活用を図るため、利用者の研修時間の長短や発達段階、ねらいのおさえ方によって研修できるよう、種種のコース(7種類)設定をし、ゆとりある活動が展開されるように努めた。また、登山コースについても見直しを図り、選択の幅を広げる努力をした。

#### (4) 主催事業の効果的な運営と改善・充実

- ① 各事業の内容を、つどいのねらいから検討し、充実した活動が展開されるよう、工夫を加えた。

「指導者の研修」は、利用時の研修種目と結びつけた研修ができるよう、選択研修の幅を広げて自覚ある参加を促すことにより、その目的を十分に果たしている。

「親子のつどい」は、夏と秋には20周年記念事業と銘うって実施、また、冬には外国人の参加もあり、いずれも好評の中で実施することができた。親子のふれ合い、他家族との交流が更に深まるよう、研修活動に新たな要素を加えていきたい。

「少年のつどい」のうちの「自然に鍛える」は、定員枠を超える応募の中で実施することができた。日毎に集団としての凝集度が高まる様子が伺え、ねらいを十分に達成できたといえる。また、新規事業で不登校児対象の「たくましく生きる少年のつどい」は、参加人数が6人であったが、自主性等の助長に顕著な効果がみられた。

9月以降の「休業土曜日の主催事業」は、多様性に富む内容で6回実施し、大旨好評裡に進めることができた。休日設定の主旨を十分にふまえ、ねらいをより一層明らかにし、親子での参加をも奨励していきたい。

- ② 事後反省・評価のあり方については、ねらいに則したアンケートを実施すると共に、追跡調査等も行いより確かなものとして、次年度計画の重要な資料のひとつにし